

# 第14回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録



令和元年 11 月 14 日開催



熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会

# 1 第14回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要

夢・未来熊谷ジュニア議会は、平成18年10月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、今年度で第14回を迎えました。第6回からは「夢・未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し、本議会に先立ち、2回のワークショップを行いました。ワークショップでは、市政に関する事前学習を行うとともにジュニア議員同士の交流を深めました。

## 第1回ワークショップ(令和元年7月26日(金))

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介とアイスブレイクを行いました。

その後、「これからの熊谷」を考慮してもらうために、人口減少等のテーマを各班に割り当て、未来の熊谷市をより魅力的にするにはどうすればよいのか、班ごとに意見をまとめ、代表者が発表しました。各グループとも活発な意見交換が行われました。



## 第2回ワークショップ(令和元年8月20日(火))

各自が考えてきた質問に関して、第1回ワークショップと同じ班で話し合ってもらい、交流を更に深めるとともに、自分の質問をより良くできるよう意見交換を行いました。

その後、実際に本番が行われる議会議場に移動し、過去の質問事項や答弁を利用して「ミニジュニア議会」を開催しました。本番と同じ環境で議会の所作を体験し、モチベーションを高めることができました。



## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会(令和元年11月14日(木))

熊谷市議会本会議場で開催しました。

議会に先立ち、三尻中学校の浜川 香穂 議員がラグビーワールドカップ観戦のお礼を市長に述べ、大里中学校の小倉 颯人 議員が「スマホ使い方宣言」を行いました。

野澤 久夫 市議会議長が臨時議長を務め、議長に富士見中学校の高橋 昂聖 議員が、副議長に熊谷東中学校の奥平 夏帆 議員が指名されました。



市内 16 中学校の 2 年生 32 人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長を始め市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。

## 2 議事日程

(令和元年11月14日(木)13時30分開会)

- 1 熊谷市議会議長挨拶
- 2 開会 臨時議長(熊谷市議会議長)
- 3 熊谷市長挨拶
- 4 議長の選挙(指名推選)
- 5 副議長の選挙(指名推選)
- 6 一般質問  
  
(途中議長が副議長と交代)
- 7 閉会 副議長
- 8 講評 熊谷市議会議長  
熊谷市長

### 3 出席議員(32名)

議席番号	学校名	氏名
1	荒川中学校	馬場 快理
2		松本 芽生
3	富士見中学校	高橋 昂聖
4		本間 結希
5	大原中学校	金子 結香
6		笹沢 大翔
7	熊谷東中学校	奥平 夏帆
8		河野 凪
9	玉井中学校	宮本 美聖
10		森 芳樹
11	大麻生中学校	大植 柚依
12		古澤 伊織
13	中条中学校	田中 利孔斗
14		吉野 咲季
15	吉岡中学校	柿谷 悠貴
16		若林 夢歩
17	別府中学校	藤田 虹
18		吉田 朔
19	三尻中学校	續木 健人
20		浜川 香穂
21	奈良中学校	門倉 千穂
22		佐藤 翔太
23	大幡中学校	田中 來夢
24		中澤 大和
25	大里中学校	小倉 颯人
26		関谷 果恋
27	妻沼東中学校	石田 陽菜
28		岩田 直人
29	妻沼西中学校	秋間 萌花
30		大岡 慧
31	江南中学校	吉野 大雅
32		和田 真陽留

## 4 一般質問

### 質問番号 1 市長公室関係

議席番号 21 奈良中学校 <sup>かどくら</sup> <sup>ちほ</sup> 門倉 千穂 議員

#### 熊谷市のパンフレットについて

市役所などに置いてある熊谷市を紹介するパンフレットを目にする機会がありました。熊谷の紹介がたくさんされているなど感じるとともに、所々の文字の小ささや、カタカナ語があるなどという印象を受けました。

熊谷市では少子高齢化が進んでいるので、字を大きくしたり、短い文にまとめたり、カタカナ語などを分かりやすい言葉にしたりするなど、子どもから高齢者までの人が今以上に手に取りたくなるよう新しいデザインにするのはいかがでしょうか。

議席番号 5 大原中学校 <sup>かねこ</sup> <sup>ゆいか</sup> 金子 結香 議員

#### 防災意識を作る講演会について

現在も大雨や大雪、竜巻などの想像もしないような自然災害が増えています。今後大きな自然災害が発生し、避難が必要になった場合、慌てず適切な行動をとることが何よりも大切です。熊谷市内でどのような災害が起こりうるか、そして災害が起こったときの対応を学ぶ必要があると考えます。そこで、防災意識を高めるために、被災地域の方を招いて講演会を行うことを提案します。実際に被害に遭われた方に来ていただき、講演後に話し合いがあるとなお効果があると思います。

この講演を行う時期ですが、9月や10月に行うと、台風や大雨などの災害がたくさん発生する時期なのですぐ生かせると思います。講演会を行うことによって防災意識を高めることができると思いますが、熊谷市でこのような取組はいかがでしょうか。

## 答弁

(市長)

門倉 千穂議員さん、金子 結香議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、門倉さんの「熊谷市のパンフレットについて」ですが、熊谷市の魅力を紹介する方法として、様々な種類がある中で、幅広い年代の多くの方に見てもらえるものの一つにパンフレットなどの印刷物が挙げられます。

そのため、パンフレットなどを作る場合は、門倉さんの提案のとおり、子どもから高齢者まで、また障害の有無にかかわらず誰でも分かりやすく見てもらえるように工夫することが大切だと思います。

そして、国宝歓喜院聖天堂、熊谷桜堤など全国に誇れる観光名所や、うちわ祭、花火大会など皆さんが楽しめるイベント、また現在、スクラム！クマガヤをスローガンに進めているラグビーなどスポーツが盛んなところといった熊谷市の魅力を、市内外の多くの人たちに向けて発信していきたいと思います。

次に、金子さんの「防災意識を作る講演会について」ですが、各地で繰り返し大きな災害が起こっており、先月、関東地方に上陸した台風第19号でも、各地で大きな被害



## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

が発生しました。

川越市や東松山市などで河川が氾濫し、熊谷市内でも、荒川や利根川等で氾濫する危険性が高まり、警戒レベル4「避難指示」等を発令したところです。最終的には、堤防の決壊という最悪の事態は免れることができたものの、その爪痕は各地に残されました。

地球温暖化により気象条件も厳しさを増す中、被害を少なくするためには、皆さん一人ひとりに防災意識を持っていただくことが大切です。

そのために、被災された方の実体験を聞く機会を設けることは、効果的であると考えています。

### 議席番号 21 奈良中学校 <sup>かどくら</sup> <sup>ちほ</sup> 門倉 千穂 議員 熊谷市のパンフレットについて(市長公室長)

門倉 千穂議員さんの「熊谷市のパンフレットについて」にお答えします。

熊谷市では、パンフレットを含めて多くの種類の広報物を発行しています。市の広報物は、様々な世代の方に読んでいただけるよう、いろいろな工夫をしています。

文字の大きさについては、伝えたい情報が多いため、どうしても小さくなってしまいう課題はありますが、可能な限り内容をコンパクトに整理し、大きな文字にするよう心がけています。

また、いわゆるカタカナ語や難しい表現は、できるだけ使わず、分かりやすい言葉に言い換えるよう努めています。



さらに、平成 29 年度からは、色の見え方には個人差があることから、誰でも見分けが付きやすくなるよう、色使いに配慮した「カラーユニバーサルデザイン」を取り入れ、複数の色を使用する際は特に注意して作成しています。

これらの取組のほか、よりインパクトのあるデザインにするため、文字を装飾したり、写真、イラストなどを積極的に使うなど、工夫を凝らしながら、多くの方に手に取ってもらえるよう、魅力的なデザインのパンフレットなどの広報物を作っていきたいと思っています。

### 議席番号 5 大原中学校 <sup>かねこ</sup> <sup>ゆいか</sup> 金子 結香 議員 防災意識を作る講演会について(危機管理監)

金子 結香議員さんの「防災意識を作る講演会について」にお答えします。

金子さんから提案をいただいたように、被災された方の生の声は大変貴重で、参考になるものと考えています。

熊谷市では、災害による被害を減らすために、皆さん一人ひとりの防災意識を高めていくことが大切だと考え、市の職員が出張して行う「市政宅配講座」や、各地域で行われる防災訓練などで、防災について説明しています。

また、災害現場でボランティア活動を行っている看護師の方にも、実体験を通した講演をしていただいたりしています。

開催時期については、台風シーズンは、その対策に全力で当たらなければなりませんので、講演会等の大きなイベントを開催することは難しいですが、時期をずらして効果的に、被災者の方などにお話をいただく機会を設けていきたいと思っています。

## 質問番号 2 総合政策部関係

議席番号 7 熊谷東中学校 <sup>おくだいら</sup> 奥平 <sup>なほ</sup> 夏帆 議員

### ゆうゆうバスの運行時間の周知について

熊谷市には、市が運営するゆうゆうバスがあり、小学生から、高齢者まで幅広い世代の人々に利用されています。その時刻表はホームページに記載されたり、パンフレットとして、市役所などに置かれています。スマートフォンを持っていない方や、パンフレットのある所へあまり行かない高齢者の方が多く、ゆうゆうバスの利用に困るという話を聞きます。そのような事情のある方が、より快適に利用できるように、毎月配布される市報と一緒に配布するのはいかがでしょうか。

議席番号 10 玉井中学校 <sup>もり よしき</sup> 森 芳樹 議員

### 少子高齢化について

現在、熊谷市に限らず、日本全体で少子高齢化が進んでおり、高齢者の割合が増える一方で子ども的人数も減ってきています。このような状態が続けば、数年後には超高齢化社会になり、人口は少なくなってしまうことが予想されます。

高齢者が多い今、熊谷市においては、若者の定住促進だけではなく、交流人口の増加や転入促進など様々な視点からこの高齢化社会に施策をとっていることを知りました。そこで、ラグビーワールドカップが終わったあと、ファンづくりを通じた転入促進はどのように行っていくのか教えてください。

議席番号 31 江南中学校 <sup>よしの たいが</sup> 吉野 大雅 議員

### 人口減少について

今後、熊谷市の人口が減少する見込みのようですが、新規の転入者を増やすことのほかに、今現在熊谷に在住している人を転出させないことも大切だと思います。熊谷駅には新幹線が止まります。

私の父は熊谷駅から新幹線通勤をしています。父に話を聞いてみると、実際に新幹線通勤をしていて感じることは、通勤時間帯を外れると熊谷駅に止まる本数が少ないということでした。高崎駅に止まる本数と比較すると、非常に少ないです。

父の会社では多様な勤務形態をとれるようフレックス制を採用していますが、新幹線の時刻表を考えずに帰ると、東京駅で 1 時間ほど待つこともあり、不便を感じているそうです。遠距離の通勤、通学者にとって、熊谷駅から通いやすい環境を整えることで、転出を避けることができ、更に転入の可能性も広がると思います。東京に通勤、通学しやすくするため、熊谷駅に停車する本数を増やすことは可能でしょうか。

## 答弁

### (市長)

奥平 夏帆議員さん、森 芳樹議員さん吉野 大雅議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、奥平さんの「ゆうゆうバスの運行時間の周知について」ですが、ゆうゆうバスは、買い物や病院へ移動する交通手段がない交通不便地域に、市が補助金を出してバスを運行することで、自動車運転免許を返上した方やご高齢の方など、市民の皆さんが安心して便利に暮らしていただけることを目指しています。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

これからも、より多くの皆さんにゆうゆうバスを利用していただけるよう、路線や時刻表を必要に応じて見直すとともに、お知らせの仕方を工夫することで、もっと身近で便利な交通機関となるようにしていきたいと考えています。

次に、森さんの「少子高齢化について」ですが、熊谷市の人口は、平成 12 年をピークに減り続けており、この減少をどれだけ抑えることができるかが重要な課題となっています。

人口の減少に対しては、出生者数が少なく死亡者数が多いことによる自然減と、転入者数よりも転出者数が多いことによる社会減の両方の面からの対策が必要です。

現在熊谷市では、子育て環境や教育環境が充実している強みを生かして、子育て世代をターゲットとした転入促進に取り組んでいます。

また、先日閉幕したラグビーワールドカップ 2019 では、熊谷市での心からのおもてなしに、国内国外を問わず多くのお客様からお褒めの言葉をいただき、「ラグビータウン熊谷」の名を全国に広めることができました。

これからもスポーツイベントなどの開催を通じて熊谷のファンを増やしていき、転入・定住につなげていきたいと考えています。

次に、吉野さんの「人口減少について」ですが、熊谷駅が新幹線の停車駅となっていることは、熊谷市にとって、周りの市町村にはない、大きなセールスポイントになっていると思います。

このセールスポイントを生かした取組として、熊谷市に転入して住宅を購入した方に新幹線定期代の一部を補助しています。また、新幹線の停車本数を増やしてもらえよう、JR 東日本にもお願いをしています。

これからも、新幹線の停車による熊谷市の優位性を PR し、多くの方から選ばれるまちとなるよう、努力していきたいと思っています。

### 議席番号 7 熊谷東中学校 おくだいら なほ 奥平 夏帆 議員

#### ゆうゆうバスの運行時間の周知について(総合政策部長)

奥平 夏帆議員さんの「ゆうゆうバスの運行時間の周知について」にお答えします。

高齢化が進むにつれ、熊谷市でも運転免許を返納する方が増えていて、これから先、免許を返納した人や高齢者の方などの移動手段として、公共交通機関の重要性や必要性は、より高まっていくものと思われます。

そのような中、ゆうゆうバスでは、更なる利便性の向上を図るため、昨年 10 月に路線や時刻表の見直しを行い、現在、7 路線、8 台の車両で運行し、年間 20 万人を超える方々にご利用をいただいているところです。

現在、時刻表は、奥平さんの質問のとおり、ホームページに掲載したり、市役所や行政センターを始めとする市内の公共施設、ゆうゆうバスの車内等に設置しています。

市報と同時配布することについては、毎年、「市報くまがや 3 月号」と一緒に配布している「熊谷市くらしのカレンダー」の中に時刻表を掲載し、皆さんにお届けしていますので、ぜひご活用ください。

これからも、市内で行われる各種行事のチラシに利用案内や時刻表を掲載するなど PR に努めるとともに、皆さんが更に利用しやすくなるよう路線や時刻表の見直しに努めていきたいと考えています。奥平さんもお出かけの際には、ぜひゆうゆうバスをご利用ください。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

### 議席番号 10 玉井中学校 森 芳樹 議員 少子高齢化について(総合政策部長)

森 芳樹議員さんの「少子高齢化について」についてお答えします。

現在、熊谷市では、「熊谷で働き続け、暮らし続けられる雇用の場を作り出すこと」、「子育て世代等にとって暮らしやすく魅力的なまちづくりにより、熊谷への転入や定住を促進すること」、「出産や子育てに対する支援」という 3 つの基本目標のもと、人口減少対策と地域活性化を図るため「熊谷市人口ビジョン・総合戦略」を策定し、様々な取組を行っています。

こうした中、これから注目していく必要がある考え方として、「関係人口」というものがあります。

「関係人口」とは、新たに移り住んでくる「定住人口」でもなく、観光のために熊谷を訪れる「交流人口」でもない、地域やそこに住む方々といろいろな形で関わってもらうことで、将来、熊谷市に住んでいただくことが期待できる人口のことです。

この関係人口を増やしていくことにより、もっと熊谷を好きになってもらい、熊谷を舞台として多くの方々に活躍してもらえよう環境を整えていくことが必要と考えています。

例えば、森さんもこの議場内に掲示してあるイラストをまちなかで目にしたことがあると思いますが、ラグビーを通して、人と人とのつながりの輪を広げることを目指している「スクラム！クマガヤプロジェクト」はその一例です。

これからも、ラグビーワールドカップ 2019 の開催を通じて得られた有形、無形の財産を、熊谷のファンづくりに生かし、関係人口を増やしていきたいと考えています。

### 議席番号 31 江南中学校 吉野 大雅 議員 人口減少について(総合政策部長)

吉野 大雅議員さんの「人口減少について」にお答えします。

現在 JR 熊谷駅は、1 日平均約 30,000 人が利用していますが、そのうち、約 4,300 人の方が新幹線を利用しています。熊谷駅が新幹線の停車駅であることは、大きな強みであり、熊谷駅への停車本数が増加すれば、私たち熊谷市民の暮らしはもっと便利になり、吉野さんの考えのとおり、定住先として熊谷市を選んでいただくことにつながるものと考えています。

そのため、熊谷市では、新幹線を運行する JR 東日本に対し、新幹線の停車本数の増加などの要望活動を行っています。また、市外からも多くのお客様がお越しになるうちわ祭や花火大会などの伝統行事や先日閉幕したラグビーワールドカップ 2019 などのような大きなスポーツイベントの存在は、新幹線の利用増につながるものと思います。

このほか、新幹線停車駅というセールスポイントを生かした取組として、平成 28 年度から、熊谷市に転入して新幹線定期券を利用して通勤している方に、費用の一部を補助する事業を実施していて、年々利用者数が増加しています。

このような取組による新幹線利用者の増加が、停車本数の増加につながり、その結果、利便性が向上し、熊谷市への転入、定住者増につながるという好循環がもたらされるよう、これからも、努力していきたいと考えています。

### 質問番号 3 総合政策部関係

議席番号 22 奈良中学校 佐藤 翔太 議員

#### ラグビーワールドカップ後のラグビーについて

私は今、ラグビー部に所属しています。実際に、ラグビーワールドカップの試合を見に行かせてくださりありがとうございます。実際に生で見てとても盛り上がりました。せっかくラグビーが盛り上がっているの、このままラグビー人気が続いてほしいと思っています。

サッカーやバスケットは市内でも少年団などはあり、小さい頃から触れる場所があります。ラグビーはまだまだそういう環境が少ないと思います。熊谷市で、そういったラグビーなどに触れることができる市が主催のクラブやサークル活動などはできないでしょうか。

議席番号 20 三尻中学校 浜川 香穂 議員

#### 五家宝の知名度向上について

熊谷の代表的銘菓である五家宝は、草加煎餅、川越の芋菓子とともに埼玉三大銘菓の一つと言われています。しかし、ほかの二つと比べると五家宝の知名度はやや低いと思います。五家宝をたくさんの人に知ってもらうことで、より熊谷に興味をもってもらえるのではないかと考え、以下の三つを提案します。

道の駅などで五家宝手作り体験教室を開く。

世界一長いお菓子としてギネス記録に挑戦。

新しいスイーツを作る。五家宝アイスやクレープなど。

五家宝のおいしさや健康食品としての良さも知ってもらうことで、熊谷の知名度も上がり、商業面・観光面の活性化にもつながると思います。

議席番号 29 妻沼西中学校 秋間 萌花 議員

#### 主要スポーツの熊谷開催について

今年はラグビーワールドカップが日本で開催され、熊谷も開催都市として注目されましたが、主要スポーツのプロ(日本代表)の試合が熊谷で開催できれば、スポーツに親しむという面でも、更に地域が盛り上がるのではないかと考えました。

自分が好きなスポーツや、打ち込んでいるスポーツ以外のスポーツにも関心を持つ良い機会になると思います。主要スポーツのプロの大会を熊谷で開催することによって、他県からの観光客も増え、熊谷が発展すると思います。

主要スポーツのプロの試合を熊谷で開催する機会を増やしてはどうでしょうか？

議席番号 30 妻沼西中学校 大岡 慧 議員

#### 熊谷スポーツ文化公園までの案内について

熊谷スポーツ文化公園に行く度に毎回思うことなのですが、駐車場の台数が少ないと感じます。そのため、混んでいる場合には駐車場に止めることができず、路上駐車や通路に止めている人が多いと思います。

路上駐車は通行の妨げや、近隣の人々の迷惑になってしまいます。そこで、公共交通機関の利用の充実を図るため、初めて熊谷を訪れた人や、外国の方でも分かるルートマップやガイドラインのような、路線図的なものを駅やターミナルに設置してもらい、

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

利用者に示せばよいと思います。

### 答弁

#### (市長)

佐藤 翔太議員さん、浜川 香穂議員さん、秋間 萌花議員さん、大岡 慧議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、佐藤さんの「ラグビーワールドカップ後のラグビーについて」ですが、今回大会を招致したのは、ただ単に熊谷ラグビー場で世界的な大会を開催したいということだけではなく、開催を通じて熊谷を広く世界に発信するとともに、まちの活性化やラグビータウン熊谷の推進、そして世界大会を成功させたという誇りと地元愛を市民の皆さんと共有したかったからです。

小中学生の皆さんにラグビー場で実際に観戦してもらいましたが、自分の住むまちで世界大会が開催され、ラグビータウン熊谷のジュニアサポーターとして出場国の歴史や文化を学び、会場では出場国の国歌を斉唱し、試合を観戦したことで一生心に残る記憶のレガシーになったと思います。皆さん一人ひとりがラグビー観戦を通して感じたことが、ラグビータウン熊谷の新たなスローガンである「スクラム！クマガヤ」を通じて、様々な形で熊谷市全体に広がることを期待しています。

次に、浜川さんの「五家宝の知名度向上について」ですが、五家宝は、皆さんご存じのとおり、熊谷が中山道の宿場町として栄えた、江戸時代から受け継がれてきた、歴史と伝統ある熊谷市の銘菓で、埼玉県を代表する銘菓の一つにもなっています。

市内には、たくさんの五家宝店がありますが、これまでの伝統を守りながら、新たな商品開発に取り組んでいるお店や、イベントなどの機会に積極的に出店し、PR しているお店もあります。

浜川さんから提案のあったアイデアを含め、これからも五家宝の知名度向上のため、様々な工夫をしながら五家宝の魅力を広く発信していきたいと思います。皆さんも、お出かけの際にはぜひ、五家宝をお土産にさせていただき、全国に PR していただければ有り難いと思っています。

次に、秋間さんの「主要スポーツの熊谷開催について」ですが、先日閉幕したラグビーワールドカップ 2019 では、日本代表の活躍もあり、ラグビーファンのみならず、日本中の人たちが世界最高峰のプレーに魅了され、これまでになく盛り上がりとなりました。

熊谷市でも予選リーグの 3 試合が行われ、世界トップレベルの選手の迫力あるプレーを間近に見て、ラグビーが好きになり、関心を持った人もたくさんいるのではないかと思います。

熊谷市内には、ラグビーワールドカップ 2019 の開催会場となった熊谷スポーツ文化公園を始め、熊谷さくら運動公園や、市民体育館などのスポーツ施設が充実しています。積極的にプロスポーツや大規模なスポーツ大会などを誘致して、様々なスポーツを観戦できる機会を増やすことで、県内外からもたくさんの人に訪れてもらい、まちの活性化につなげていきたいと考えています。

次に、大岡さんの「熊谷スポーツ文化公園までの案内について」ですが、熊谷スポーツ文化公園は、熊谷駅から徒歩で 50 分ほどかかるため、自動車での来場者が多く、例えば、全国ご当地うどんサミットや Jリーグ の公式戦のような、大きなイベントのときには、駐車場が不足し会場周辺が混雑してしまうことがあります。

こうした課題を踏まえ、ラグビーワールドカップ 2019 の際には、会場周辺の混雑を避けるために交通規制を行い、ファンゾーンと籠原駅からのシャトルバスの運行を始め、

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

最寄りの太田駅や森林公園駅などから予約バスを運行したほか、会場周辺の 4 か所に臨時駐車場を設けてバス輸送を行うなど、国内外からお越しになる大勢のお客様をスムーズに安全に会場に運べるよう、様々な対策を講じたところです。

こうした取組が功を奏し、大会当日は大きな混乱等もなく、観戦に訪れた多くの皆様からも、高い評価をいただいています。

これからも、熊谷市で大きなイベントが開催される際には、今回の取組事例を生かしながら、会場周辺に混雑や迷惑がかからないよう、様々な対策を講じたいと考えています。

### 議席番号 22 奈良中学校 佐藤 翔太 議員

#### ラグビーワールドカップ後のラグビーについて(副市長)



佐藤 翔太議員さんの「ラグビーワールドカップ後のラグビーについて」にお答えします。

熊谷市でラグビーをプレーする機会として、まず一番若い年代では、熊谷ラグビースクールがあり、幼稚園児から小学6年生まで大勢の子どもたちがプレーをしています。

また、小中学校では、全校で授業の一環としてタグラグビー教室を実施しています。ここでは、市内を拠点とする女子7人制ラグビーチームのアルカス熊谷の選手が各学校を訪問して、タグラグビーを教えています。

また、毎年 11 月には、スポレクフェスティバルでタグラグビー大会を予選リーグ、決勝トーナメントと2週にわたって開催していて、各小学校 4 年生以上のチームによる熱い戦いが繰り広げられています。

そして、中学校の部活動では、県内に 14 ある中学校ラグビー部のうち、5 校が市内の中学校ですので、中学生でプレーを続ける場合も、恵まれた環境にあると言えます。

また、年代に関わらずラグビーに触れるという点では、毎年春に熊谷ラグビー場で全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会が開催されていることが挙げられます。

日本代表のリーチマイケル選手が札幌山の手高校時代に出場するなど、将来の日本代表やトップリーガーとなる選手がこの大会で活躍しています。

これら全国レベルの試合を身近に観戦できるのも、ラグビータウンならではのメリットだと思います。

これからも皆さんがラグビーに触れる機会を増やせるよう関係機関とも連携していきます。

### 議席番号 20 三尻中学校 浜川 香穂 議員

#### 五家宝の知名度向上について(総合政策部長)

浜川 香穂議員さんの「五家宝の知名度向上について」にお答えします。

熊谷銘菓の五家宝を PR するため、熊谷市のホームページや観光パンフレットで紹介しているほか、熊谷市観光協会では、遠方にお住まいの方でも手軽に五家宝を購入できるよう、インターネットによる通信販売に取り組んでいます。

また、東京都内や群馬県など、県外で行われる全国の旅行業者が集まる観光 PR イ

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

ベントで、実際に試食をしてもらうなど、知名度向上に向けた取組にも努めています。

さらに、「ラグビーワールドカップ 2019」の開催時には、ファンゾーンやおもてなしエリアで、五家宝を販売し、国内外から訪れた多くの来場者の方に、五家宝の魅力を広く PR したところです。

熊谷市内にある五家宝店の中には、長さ約 60 センチメートルのインパクトのある五家宝を作っているお店を始め、五家宝づくり体験や出張実演を行っているお店や、チョコや黒糖などを使ってアレンジした季節限定商品を販売しているお店など、新たな取組に挑戦しているお店もあります。

こうした工夫や取組の積み重ねにより、五家宝が更に身近なものとなり、多くの方に親しまれることで、浜川さんの提案のとおり、商業や観光面の活性化にもつながっていくものと考えています。

これからも五家宝のおいしさや魅力を、一人でも多くの方に伝えられるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

### 議席番号 29 妻沼西中学校 <sup>あきま ももは</sup> 秋間 萌花 議員 主要スポーツの熊谷開催について(総合政策部長)

秋間 萌花議員さんの「主要スポーツの熊谷開催について」にお答えします。

先程、市長からお答えしたとおり、熊谷市内には、様々なスポーツ大会に対応できる環境が整っています。

これまでも、熊谷スポーツ文化公園を中心に、「ラグビートップリーグやサッカー」リーグの公式戦を始め、陸上競技の日本選手権や東日本実業団駅伝のほか、ソフトテニスやバドミントンなど、全国や関東大会規模の試合が数多く開催されています。

こうした熊谷市の優位性を生かして、大規模なスポーツイベントを積極的に誘致し、たくさんの選手やお客様に熊谷を訪れてもらい、市街地のお店や観光スポットなどに立ち寄ってもらうことで、まちの活性化につなげていきたいと考えています。

そのため、大会誘致や運営支援を行うための組織となる「熊谷スポーツコミッション」を、来年 4 月に設立できるよう、現在、計画の策定や関連する事業者の方との調整を行うなどの準備を進めているところです。

熊谷市では、「スポーツ熱中都市宣言」を掲げて、スポーツの「実践」はもとより、大会への「協力」や「応援」を通して、スポーツに熱中し、健康な体を育み、誰もが元気に生き生きと生活できるまちづくりを目指しています。

これからも、たくさんのスポーツに触れる機会を増やすなどの、市民の皆さんやまちが元気になる施策を進めていきたいと考えていますので、秋間さんにも、様々なスポーツへの「応援」や「協力」を通して、ぜひ熊谷を盛り上げてもらえればと思います。

### 議席番号 30 妻沼西中学校 <sup>おおおか けい</sup> 大岡 慧 議員 熊谷スポーツ文化公園までの案内について(総合政策部長)

大岡 慧議員さんの「熊谷スポーツ文化公園までの案内について」にお答えします。

熊谷スポーツ文化公園では、皆さんが観戦したラグビーワールドカップを始め、様々なスポーツイベントが開催されているほか、全国ご当地うどんサミットのような観光イベントなども開催され、年間を通して、県内外から 100 万人を超える方が訪れることから、大規模イベントの時には交通渋滞や違法駐車により、近隣住民の方に迷惑をかけてしまうことがあります。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

そのため、リーグの公式戦や、全国ご当地うどんサミットなどの大規模なイベントのときには、主催者と協力し、熊谷駅から臨時バスを運行するほか、葛和田サッカー場に臨時駐車場を設け、会場と往復するバスを運行するなど、周辺の混雑緩和に努めています。

こうした取組と併せて、市報を始め、イベントパンフレットや SNS、ホームページ等を活用し、できるだけ多くの方に公共交通機関を利用してもらえるよう呼びかけています。こうした取組により、昨年の全国ご当地うどんサミットでは、2日間で約 12,000 人の方がバスを利用するなど、会場周辺の混雑緩和に効果が見られました。

また、ラグビーワールドカップ 2019 の開催に併せ、熊谷駅正面口の案内表示を誰にでも分かりやすい表示に変更したほか、スポーツ会場やバス乗り場などを検索できるタッチパネル式のモニターを設置するなど、バスなどの公共交通機関をスムーズに利用できるよう工夫もしています。

大規模なスポーツ大会や観光イベントが開催されることは、まちのにぎわいや活性化にもつながります。これからも来場者の方はもとより、周辺にお住まいの方にも、気持ち良くイベントに参加・協力していただけるよう、様々な対策をしていきたいと考えています。



## 質問番号 4 総務部・選挙管理委員会事務局関係

議席番号 8 熊谷東中学校 河野 凧<sup>かわの なぎ</sup> 議員

### 熊谷市役所本庁舎の老朽化について

熊谷市役所本庁舎は 1973 年の竣工から約 45 年たっており、近い将来建て替えの時期を迎えると思われます。しかし、今後の人口減少社会を踏まえて考えると大きな投資は後世への更なる負担となってしまうと思ひます。そこで急速に普及してきたインターネットとマイナンバー制度の活用を考へ、市役所庁舎としての機能を最小限に抑え、建物の規模を縮小することができないでしょうか。

私だったら、まず市庁舎は市の中心部ではなく、郊外に建てることで土地代を抑え、駐車場を広くして、管理者が少なくなる運営方法を行います。またインターネットによる手続きを拡充することにより、建物の規模も今の半分程度のコンパクトな造りとし、人口減少とネットワーク社会の更なる進化に備えます。また、市役所の交通手段はゆうゆうバスを活用し利便性を高められればと考へます。今後の庁舎の移転を含めた建て替え等の計画についてお聞かせください。

議席番号 4 富士見中学校 本間 結希<sup>ほんま ゆうき</sup> 議員

### 選挙の電子化について

8 月 25 日に行われた県知事選挙では、富士見中学校の体育館は投票所として利用されました。それによって、中止になった部活動もありました。

また、以前東京の港区の区議会議員選挙で、一票差で落選してしまい、数え間違いがないか選挙管理委員会に申立てをしたというニュースを見ました。

このようなことから、選挙が全て電子化されれば、良いのではないかと考へました。スマートフォンやパソコンで投票することができれば、わざわざ投票所に行かなくても、投票することができます。また、スマートフォンやパソコンでできるならと、若い人の投票数も増えるのではないかと考へました。電子化すれば、紙を一枚一枚数える手間もなく、数え間違いの心配もなくなります。

なので、私は選挙を電子化するべきだと思いますが、熊谷市では電子化の予定はありますか。

## 答弁

### (市長)

河野 凧議員さん、本間 結希議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、河野さんの「市役所本庁舎の老朽化について」ですが、今後、令和 10 年代から 30 年代にかけて市役所本庁舎だけではなく、学校や公民館など多くの市有施設が建て替えの時期を迎えます。

施設の建て替えには多額の費用が必要となり、全てを新しくすることは困難なことから、今後の施設の廃止や新設・統合を目指した公共施設アセットマネジメント基本方針および基本計画を定めました。

現在、この方針等に基づき、施設の個別計画を作成しているところですが、将来的には本庁舎については、大里、妻沼、江南庁舎を集約し、新庁舎として建て替えることとしています。

次に、本間さんの「選挙の電子化について」ですが、選挙は、より良い生活や社会を実現するため、私たちの代表を選ぶためのものであり、今年、市や県、国の議会議

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

員のほか県知事と、多くの選挙が行われました。

選挙は、自由で公平・公正・正確であることはもちろん、投票する方の利便性・開票の迅速性なども求められています。紙を使わない電子投票は、平成 14 年から地方自治体の選挙に限り、一定の条件で可能となっており、利便性の向上等が期待できますが、トラブルが発生した場合は、最も重要な投票の信頼性を損なうおそれがあり、普及が進んでいません。

現在、国が電子投票の研究・検討を行っていますので、その動きを注視していきたいと考えています。

### 議席番号 8 熊谷東中学校 <sup>かわの なぎ</sup> 河野 凪 議員 熊谷市役所本庁舎の老朽化について(総務部長)

河野 凪議員さんの「市役所本庁舎の老朽化について」にお答えします。

本庁舎は、鉄筋コンクリート造、地上 8 階地下 1 階の建物で、築 45 年以上が経過していますが、平成 26 年から 28 年にかけて耐震改修工事等を実施し、今後 20 年程度は十分に使用が可能となっています。

本庁舎の建て替えは、多額の費用が必要となりますので、質問のとおり、後世への負担とならないよう、将来の人口減少を現実のものにとらえ、IT 技術を積極的に取り入れていくなど、施設規模の縮小を図る必要があると考えています。

現在、本庁舎の建て替え時期を見通しながら、大里、妻沼、江南庁舎を含めた個別計画の作成を進めていますが、この 4 つの庁舎を集約し、業務効率化を図りながら適正な規模を検討していきます。

また、本庁舎の立地場所については、いただいた提案の内容を含め、利用者全体の利便性や、施設に求められる機能や規模などを踏まえて、総合的に検討したいと考えています。



### 議席番号 4 富士見中学校 <sup>ほんま ゆうき</sup> 本間 結希 議員 選挙の電子化について(選挙管理委員会事務局長)

本間 結希議員さんの「選挙の電子化について」にお答えします。

選挙の電子化には、投票場所や使用する端末により、投票所において専用端末で投票する方法と、質問のように場所を限らず個人のスマートフォン等で投票する方法があります。

専用端末で投票する方法は、各自治体で条例を定めれば国の選挙以外の市議会や市長の選挙等で行え、実施した自治体では、選挙結果が迅速・正確に分かる等の効果がありましたが、システム障害の発生による投票への悪影響で選挙がやり直しとなる事例があり、現在では行う自治体がありません。

もう一方の個人のスマートフォン等で投票する方法は、インターネットを使って、いつでも、どこでも投票できるようになり、特に体の不自由な方や交通弱者に便利になるほか、全国的な課題である若年層の低投票率の改善が期待できます。また、選挙事務を行う側にも、投票所がいらなくなること、事務従事者が減ること等、事務や費用の削減などの利点があります。

しかしながら、スマートフォンを持たない方等への配慮や、なりすまし、サイバー攻撃等の対策など課題も多く、現在は認められていません。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

選挙では誤り・不正が許されないため、投票所において本人が投票用紙で投票するのが基本ですが、通信技術の進歩もあり、国はインターネット投票の研究・検討を行っているところです。

導入できれば、より良い社会の実現のために、より簡単に、選挙を通じて自分の意見や希望を反映できることとなりますが、まだ時間がかかると考えられます。



## 質問番号 5 市民部関係

議席番号 1 荒川中学校 <sup>ばば</sup>馬場 <sup>かいり</sup>快理 議員

### 直実節を活用した地域活性化について

直実節は、熊谷の運動会で踊られることも多く、市民にとって親しみのある文化です。しかし、他県の人からすると、まだまだ知名度が低いと思います。そこで、直実節を知ってもらうことで、より熊谷に興味を持ってもらえるのではないかと考え、以下の方法を提案します。

歌詞を簡単な表現に変えたり、小さい子でも親しみやすいよう、リズムや踊りを工夫したりして、直実節をアレンジした「ニャオざね節」を作成する。

熊谷市公式チャンネルの「恋するフォーチュンクッキー」の動画が再生回数が多かったのも、それをモデルとして「ニャオざね節」を幅広い世代の人たちに踊ってもらい、それをインターネットで募集し、コンテストを開いたり、動画をアップしたりする。

このような取組で、地域活性化を図ってはどうか。

議席番号 12 大麻生中学校 <sup>ふるさわ</sup>古澤 <sup>いおり</sup>伊織 議員

### 自転車のマナーアップについて

私はよく熊谷駅に行くのですが、駅周辺の禁止の場所にたくさんの自転車が止められていて通行の邪魔になっているのが気になっています。そこに駐輪していることによってほかの人も止めて良いのだと思い、どんどん増えています。また、右側通行や傘差し運転など危険な乗り方をしている人も多いです。こうしたことをなくすために自転車利用者一人ひとりのマナーアップをする必要があると思います。そこで、各学校で「自転車マナーアップ標語」のようなものを募集して、それらの良い作品を市内の掲示できるところに展示して市民のマナーアップ向上を推進する、というのはどうか。

議席番号 13 中条中学校 <sup>たなか</sup>田中 <sup>りくと</sup>利孔斗 議員

### 熊谷市の自転車の窃盗について

熊谷市の窃盗が起きている中で一番件数が多いのを調べてみると、ここ最近の結果 28 年、29 年、30 年と自転車の窃盗でした。その件数を見ても年々減少してはいますが、いまだ 300 件と多い状況です。僕も通学やどこか出かけるときには必ず使うので、もしも盗まれたとなると生活がとても不便になってしまいます。そこで、警察の仕事とは別に市として、小学校や中学校の児童・生徒からポスターを募集して、それを人通りの多い市役所や駅前の駐輪場などに掲示するなどの防犯対策をするような考えはありますか。

議席番号 16 吉岡中学校 <sup>わかばやし</sup>若林 <sup>ゆめあ</sup>夢歩 議員

### 自転車の駐輪場について

熊谷市には、自転車で移動する人がたくさんおり、自転車を駐車する駐輪場が整備されていますが、まだ数が足りていないようです。そこで、狭い駐輪場では自転車が横になって倒れていたり、歩行者の邪魔になるようなところに自転車を止めているという状況を目にします。以上のことから、どこでも目立つような張り紙を貼って呼びかけをすることはもちろんのこと、新たに地下等を利用した立体駐輪場を造り駐輪場を増やすこ

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

とは可能でしょうか。

### 答弁

#### (市長)

馬場 快理議員さん、古澤 伊織議員さん、田中 利孔斗議員さん、若林 夢歩議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、馬場さんの「直実節を活用した地域活性化について」ですが、皆さんもご存じのとおり、熊谷次郎直実は平安末期から鎌倉初期にかけて活躍し、『平家物語』や歌舞伎、浄瑠璃など文学や演劇の世界でも語られている熊谷の偉人です。

ここにいる皆さんは、小学校の運動会で「直実節」を踊り、地元の偉人である直実を身近に感じることで、郷土熊谷を愛する心が湧いてきたのではないのでしょうか。

昭和の時代から、広く市民に愛され、歌い、踊り続けられている「直実節」をこれからも大切にしていきたいと思っています。

地域活性化の手段として「直実節」を活用するというアイデアですが、貴重なご意見であり、様々なイベントの際に「直実節」を流すなど、検討していきたいと思います。

また、熊谷市公式チャンネルの「恋するフォーチュンクッキー」の動画ですが、実は私も出演しています。現在 38,000 回以上も動画再生されていることから、熊谷市のPRに多いに役立っていると思われれますので、こうした取組を地域の活性化のために、積極的に活用したいと考えます。



次に、古澤さん、田中さん、若林さんの自転車に関する様々な角度からの質問ですが、熊谷市は快晴日数が多いことや平坦な地形が広がっていることから、自転車利用に適していると考えています。

誰もが気持ち良く自転車を利用できるように、皆さんから提案のあった標語やポスターの募集も含め、警察や交通安全協会など関係団体と協力し、マナーアップ向上や防犯対策に努めていきます。

また、駐輪場については、現在のところ、民間の施設も含めて、収容能力に余裕がありますので、今後の利用状況を見守りたいと思います。

#### 議席番号 1 荒川中学校 <sup>ばば</sup> <sup>かいり</sup> 馬場 快理 議員

#### 直実節を活用した地域活性化について(市民部長)

馬場 快理議員さんの「直実節を活用した地域活性化について」にお答えします。

熊谷市のマスコットキャラクター「<sup>ゆ</sup>ニャオざね」のため、熊谷市の市民活動団体が作成し、振り付けもしている「<sup>ゆ</sup>ニャオざねが行く」という曲を知っていますか。

この曲は、一度聞くと頭に残るフレーズと簡単でかわいらしい振り付けが魅力となっています。毎年開催される、市民活動団体のお祭り「ニャオざねまつり」では、ニャオざねが来場者と一緒に歌って踊ります。昨年度は、SATOYAMA&SATOUMIというイベントでアイドルたちと一緒に踊りました。

歌詞は、「直実節」をアレンジしたものではありませんが、この「ニャオざねが行く」を、多くの皆さんに広めて親しんでいただきたいと思います。

また、インターネットに、「ニャオざねが行く」の振り付け練習用の動画も掲載していま

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

すので、幅広い世代の人たちに楽しく踊っている動画をインターネットにアップしていただけたらと思います。

行政の力と市民の皆さんが発信する SNS の力で、熊谷市を広く PR していきたいと考えています。

### 議席番号 12 大麻生中学校 <sup>ふるさわ いおり</sup> 古澤 伊織 議員 自転車のマナーアップについて(市民部長)

古澤 伊織議員さんの「自転車のマナーアップについて」にお答えします。

熊谷駅周辺には自転車を放置してはいけない区域があり、その区域内で正しく駐輪していない自転車を放置自転車と言います。放置自転車の数は、年々減少していますが、古澤さんの質問のとおり、まだ多くの放置自転車があるのが現状です。

その対策として、駅周辺に指導員を配置して、自転車を止めようとしている人に声をかけたり、警告札を付けて周知を行ったり、場合によっては撤去をしています。



そのほか、小中学校での交通安全教室の実施、自転車安全利用の街頭啓発やメール配信サービスのメルくまでの広報をしています。

また、熊谷市では、平成 24 年から、市内の小中学生の作成した交通安全標語を交通安全スローガンに定めています。

この標語の募集については、各年の自転車マナーアップ推進校である中学校と、交通安全子供自転車大会に出場した小学校の 2 校にお願いし、決定をしています。自転車マナーアップに特化した標語の募集ではありませんが、今後も小中学生が考えてくれた交通安全スローガンを活用して、交通安全思想の啓発に努めていきます。

### 議席番号 13 中条中学校 <sup>たなか りくと</sup> 田中 利孔斗 議員 熊谷市の自転車の窃盗について(市民部長)

田中 利孔斗議員さんの「熊谷市の自転車の窃盗について」にお答えします。

田中さんが調べたとおり、熊谷市内の自転車の窃盗件数は、全ての犯罪件数の中で一番多く、平成 30 年に 292 件の被害がありました。

盗まれた自転車の約 6 割が鍵をかけていないまま被害に遭っていることから、自転車には 2 つ鍵をかける「ツーロック」が対策の基本となっています。自転車を使う皆さんも駐輪の際は、ぜひ、ツーロックを心がけてください。

また、熊谷市では、熊谷警察署などと一緒組織した「熊谷防犯協会」を通じて、様々な防犯ポスターの掲示やチラシでの啓発などを行っています。

熊谷防犯協会が加入している埼玉県防犯協会連合会では、毎年、県内の小中学生を対象に防犯ポスターコンクールを行っていますので、ぜひ、田中さんも応募してみてください。

これからも、市報やホームページ、チラシによる防犯の啓発はもとより、地域に根ざした自主防犯活動団体による防犯活動を支援し、犯罪のない安全・安心に暮らせるまちづくりに力を注いでいきます。

### 議席番号 16 吉岡中学校 <sup>わかばやし ゆめあ</sup> 若林 夢歩 議員 自転車の駐輪場について(市民部長)

若林 夢歩議員さんの「自転車の駐輪場について」にお答えします。

まず、歩行者の邪魔になる放置自転車については、古澤さんの質問にお答えした

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

ような対策を行っています。

放置自転車が特に多い場所には看板を設置して、放置してはいけない場所であることを周知しています。

また、熊谷駅周辺の駐輪場については、収容能力に余裕がある状況ですので、新しい立体駐輪場を地下等に造ることは、多額の費用が必要であることから難しいと考えています。

放置自転車の問題を防ぐためには、啓発のほか、市民の皆さんの声を聞きながら、今ある駐輪場を利用しやすいように工夫していきたいと考えています。



## 質問番号 6 福祉部関係

議席番号 2 荒川中学校 <sup>まつもと めい</sup>松本 芽生 議員

### 熊谷駅周辺の活性化について

熊谷駅周辺に母と買い物に行った際、空き店舗が多くあると感じました。そこで、熊谷市ではお店を募集する等商店街の活性化を図っています。更なる活性化を図るために、保育園や児童館を商店街に作るのはどうでしょうか。仕事終わりのお母さんやお父さんからすると、子どもを迎えに行くついでに買い物をすることができるので、便利だと思います。また、子どもを一時的に預かってくれる場所を作り、親が子どもの心配をすることなく買い物ができるようにするのも良いと思います。このような「親子にやさしい商店街」を作るのはどうでしょうか。

議席番号 23 大幡中学校 <sup>たなか らいむ</sup>田中 來夢 議員

### 子どもの利用できる施設について

私は両親が共働きということもあり、小学 5 年生までは児童館・児童クラブへ通っていましたが、現在小学 5 年生の私の妹は、定員オーバーのため、児童館・児童クラブへ入ることができませんでした。なので、児童館・児童クラブへ入れなかった人や一般の人が気軽に利用でき、親や子どもにとっても安心できる施設があったら良いと思います。

一つの案として私の身近にあるくまびあで考えました。くまびあには多くの教室があると思いますが、その教室を利用してミニ図書館や自習室、自由に遊べるスペースなどを作るという案です。このような施設があれば小学生が一人で家にいる時間が減り、親の心配も少しは少なくなると思います。

共働きの家庭が増えている今、熊谷市ではこのような施設の建設の計画はありますか。また、市ではこの問題をどのように考えていますか。

## 答弁

(市長)

松本 芽生議員さん、田中 來夢議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、松本さんの「熊谷駅周辺の活性化について」ですが、現在、熊谷市では、にぎわいや憩いの場としての商店街づくりや様々な消費者のニーズに対応できる魅力的な商店街づくりを推進するため、いろいろな取組を行っています。この商店街の中に保育園や児童館を作ることは、人を集めるのにとっても効果的なことだと思います。保育園だけでなく、保護者が買い物をする間、一時的に預かってくれる場所もあると、より一層人が集まり、にぎわいを作り出すこともできると思います。現在も、駅周辺に保育施設はありますが、これからも民間の活力も利用し、このような取組ができるかどうかを考えていきたいと思っています。



次に、田中さんの「子どもの利用できる施設について」ですが、熊谷市では、将来的な人口の減少や市の施設の老朽化に対応するため、学校、公民館、体育館などの施設の建て替えや整理を行うアセットマネジメントという計画を作っている最中ですが、そ

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

の計画の中で子どもたちが雨の日でも安心して学習や遊びができる施設の整備を考えているところです。

これからも「子育てするなら熊谷市」をキャッチフレーズに子育てを応援するまちづくりを行い、子どもたちが健やかに成長できる環境を作ることを目指し、計画に基づいて施設整備を行っていく予定です。

### 議席番号 2 荒川中学校 <sup>まつもと めい</sup> 松本 芽生 議員 熊谷駅周辺の活性化について(福祉部長)

松本 芽生議員さんの「熊谷駅周辺の活性化について」にお答えします。

現在、熊谷駅周辺の保育ニーズはとて高く、この地域の保育園では多くの子どもたちを預かっています。ご提案いただいた、駅周辺の商店街に保育園や児童館を作るということは、この保育ニーズにも応える、とても良い考えだと思います。

一方、保育園などの児童施設は、子どもの安全を守るため、様々な基準が定められています。

例えば、保育室では年齢に応じて必要な面積が決められていて、0 歳・1 歳児は子ども 1 人当たり 3.3 平方メートル以上、2 歳児以上は子ども 1 人当たり 1.98 平方メートル以上が必要です。また、保育園の庭にも 1 人当たりの必要な面積が決められています。ほかにも、給食のための設備や、火災が起きた時の対策など、様々な条件を満たす必要があります。

さらに、子どもの送り迎えに必要な駐車場の整備や商店街の中のお店との調整など、たくさんの課題があります。

熊谷駅周辺の保育園では、ティアラ 21 の中に新里第二保育園、熊谷駅南側に曙町保育所、さくらキッズ保育園、りゅうさい保育園があり、たくさん子どもたちを預かっていますが、これからも保育園を作るための難しい課題を解決して、熊谷駅周辺の活性化のためにも、どのように子育て施設を活用することができるのか考えていきたいと思えます。

### 議席番号 23 大幡中学校 <sup>たなか らいむ</sup> 田中 来夢 議員 子どもの利用できる施設について(福祉部長)

田中 来夢議員さんの「子どもの利用できる施設について」にお答えします。

現在、熊谷市では児童クラブを利用したい人は全員入れるように児童クラブの整備を進めているところです。妹さんがクラブに入れなかったとのことで大変申し訳ありませんでしたが、大幡小学校にも今年の 9 月に新しく児童クラブを作りましたので、現在は全員が入れる環境が整いました。

熊谷市の児童クラブでは、小学 6 年生まで受け入れることにしていますが、共働きの世帯が増えていて、利用希望者全員が児童クラブに入れていない状況です。子ども・子育て支援事業計画の中で、平成 27 年度から毎年 3 クラブずつ 5 年間で 15 クラブを作ることとしましたが、利用希望者が多いことから、今年度までの 5 年間で、計画を超える 16 クラブを作り、更に来年 4 月に 3 クラブを開設します。これからも利用者のニーズを見極めて、来年度からの第 2 期の子ども・子育て支援事業計画を策定していきます。

また、子どもの利用できる施設については、現在も児童館が 9 館ありますが、雨の日でも子どもたちが安心して利用できる「こどもセンター」の建設を計画しています。皆さんの意見も聞いて、良いものを作っていきたいと思えます。

# 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容



## 質問番号 7 環境部関係

議席番号 9 玉井中学校 <sup>みやもと みさと</sup> 宮本 美聖 議員

### 太陽光エネルギーの活用～環境改善に向けて～

快晴日数が日本一と言われている熊谷市では、環境問題を私たちが身近に感じられるようにするための一環として、太陽光発電設備を取り入れています。太陽光エネルギーをきっかけに、環境を改善していけるのは、とてもいいと思いますが、環境問題の悪化を考えるともっと環境保全のための活動をした方がいいと感じました。

そこで私は、住宅への太陽光パネルの設置を進めるべきだと考えました。普段、道路を車で走っているときに周りの家の屋根を見ても太陽光パネルの普及は少ないように感じます。

今後、太陽光エネルギーを、どのように一般家庭に普及させていくのでしょうか。また、環境問題に向けた対策や方針について具体的に教えてください。

議席番号 3 富士見中学校 <sup>たかはし こうせい</sup> 高橋 昂聖 議員

### 野良猫の増加とその対策について

最近、まちなかで首輪をつけていない猫を見ることが多くあります。僕が通学路として利用している道にも野良猫がいて、その野良猫は近くの空き家に住み着いています。

野良猫が増える原因となっているのが、「空き家」と「餌をあげる人」です。ある市では、いらぬ空き家を所有している人が空き家を市に寄附し、それを市が固定資産税だけで貸し出してほかの市から人を呼んでいます。そうすれば、野良猫の問題と人口減少問題の両方に歯止めをかけられます。また、登下校時に餌をあげている人を見たことがあります。かわいそうだと思ってパンなどをあげる人が多いのが現状です。餌をあげると野良猫が増えてしまうことをみんなに知ってもらうために、餌をあげないように市の放送で呼びかけたり、野良猫が集まる場所の近くに小さな看板などを立てたりすることが大切だと思います。野良猫増加の対策について熊谷市は何か考えていますか？

議席番号 14 中条中学校 <sup>よしの さき</sup> 吉野 咲季 議員

### 熊谷市のイベント時のごみ対策について

熊谷市には、さくら祭、うちわ祭、花火大会など、大きなイベントがいくつかあります。私はそれらのイベントが大好きで、毎年出かけています。イベントを楽しんでいるときに、ごみを捨てる場所が少ないと思うことがあります。もっとごみ捨て場が多くあれば、ポイ捨てをする人もいなくなるのではないかと思います。

しかし、ごみ捨て場を作るのは大変なので、ごみ集めボランティアやごみ拾いボランティアを募集して、イベントを楽しみながら活動できるようにするのはいかがですか。私一人で活動することもできますが、一人で活動するのは大変なので、募集をして、たくさんの人たちでイベント会場をきれいにするのが良いと思います。今後のイベントでのごみ対策としてどのようなことを考えているのかをお聞きしたいです。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

### 議席番号 15 吉岡中学校 <sup>かきたに</sup> <sup>はるき</sup> 柿谷 悠貴 議員 熊谷市のポイ捨てについて

最近、我々が生活している中でみかけるポイ捨てについてですが、僕が今住んでいる吉岡地区では、ポイ捨てが多く見られます。地域の方々もごみ拾いなどボランティアで掃除をしてくれている人もいます。しかし、ポイ捨ての量は減らずごみが落ちていきます。さらに、ポイ捨てによりカラスがごみをあさり、散らかってしまっていることもあります。

そこで市内に張り紙を貼ったりする予防だけではなく、ごみ箱の数を増やすことは可能でしょうか。ニューヨークでは破れ窓理論という「破れた窓ガラスがなければ、窓ガラスを割る人がいない」ということでまちの状況を改善したと聞いたことがあります。

そこで、ごみ捨てができないようなきれいな環境を維持するために、年に 3 回程度、市内一斉ごみ拾い活動を実施するのはどうでしょうか。

### 答弁

#### (市長)

宮本 美聖議員さん、高橋 昂聖議員さん、吉野 咲季議員さん、柿谷 悠貴議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、宮本さんの太陽光エネルギーの活用についてですが、質問にもありましたとおり、熊谷市は、快晴日数が多く、日照時間も例年 2000 時間を超えていることから、この気候的特性を有効活用し、再生可能エネルギーを利用する太陽光発電システムの普及を推進しています。一般家庭に補助金を交付して普及を後押ししているほか、規模の大きなメガソーラーを設置するため、市有施設の屋根や市有地の貸出しも行っていきます。

また、25 の小中学校の体育館に、太陽光発電システムを設置し、校内の電力の一部を賄っているほか、発電状況の表示モニターにより環境学習にも役立てています。

これからも、太陽光エネルギーを始めとした、再生可能エネルギーを活用し、地球温暖化対策を進めていきます。

次に、高橋さんの「野良猫の増加とその対策について」ですが、現在のペットブームの中で、猫は特に人気があり、生活に癒やしを与えてくれる存在として、多くの市民が大切に飼育しています。

しかし、その一方で、「野良猫」つまり「飼い主のいない猫」が増えすぎて困っているという問題が全国で起きていて、熊谷市にも多くの相談が寄せられています。このため、熊谷市では、猫の飼い方のマナーを市報やホームページでお知らせするとともに、「飼い主のいない猫」の問題を地域の皆さんやボランティアなどと協力して解決していく地域猫活動を行っています。その活動の一つとして、不妊去勢手術を無料で施せる制度を設けていて、多くの市民に利用されています。

こうした活動により、殺処分される不幸な猫が減るように取り組んでいきます。

次に、吉野さんの「熊谷市のイベント時のごみ対策について」ですが、熊谷市では、うちわ祭や花火大会など、市の内外から大勢の観光客が集まるイベントが多く、熊谷市の魅力の一つとなっています。しかし、こうした大規模なイベントにより、たくさんのごみが発生します。こうしたごみは、主催者の責任において適正に処理することを原則としていますが、熊谷スポーツ文化公園で開催されている「全国ご当地うどんサミット in 熊谷」では、中学生の皆さんに、ごみの回収をしていただいているように、会場の清掃等にボランティアが活躍しているイベントもあります。ボランティアの協力は、主催者とし

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

でも、大変ありがたいことですので、更なる活躍の可能性について考えてみます。また、イベント時の食品の提供に、繰り返し使えるリユース食器を利用するなど、ごみを減らすための新たな試みも導入されていますので、こうした環境にやさしい考え方がイベントの主催者に広がるように働きかけていきたいと思えます。

次に、柿谷さんの「熊谷市のポイ捨てについて」ですが、ポイ捨てを防止するためには、ごみを捨てる人にルールやマナーを守ってもらうことはもちろんですが、柿谷さんの考えのように、ごみ捨てができないような、きれいな環境を維持することがとても重要です。最近では、マイクロプラスチック問題による海洋汚染など、世界的にもごみを減らし、きれいな環境を守っていくための意識を高めることが求められています。現在も、地域でのごみゼロ活動など、市民が主体となった環境美化活動が行われていますので、こうした取組の輪を市全体に広げ、市民と行政が協力してポイ捨てのないまちづくりを行っていきます。

### 議席番号 9 玉井中学校 <sup>みやもと みさと</sup> 宮本 美聖 議員

#### 太陽光エネルギーの活用～環境改善に向けて～(副市長)

宮本 美聖議員さんの「太陽光エネルギーの活用～環境改善に向けて～」にお答えします。

熊谷市では地球温暖化対策の一環として、平成 19 年度から再生可能エネルギーを活用した住宅用太陽光発電システムの補助制度を開始し、普及を進めてきました。現在、住宅用太陽光発電システムは、6100 基を超え、戸建て住宅の約 1 割に設置されていますが、発電した電気を電力会社が買い取る価格が年々下がっているため、システムの新たな設置数は減少傾向にあります。そこで、自宅で発電した電気を夜も使えるように、蓄電池の設置にも力を入れています。ここ数年は、太陽光発電システムの設置費が下がっていることもあり、蓄電池の普及と相まって、その数は、平成 30 年度から

再び増加の兆しを見せ始めました。蓄電池は、停電になっても電気が使用でき、防災の観点からも有効な設備であるため、補助制度を創設し、設置を後押ししています。

また、今年度からは、新たな再生可能エネルギーの活用を進めるため、地中熱利用システムの補助制度を開始しました。このシステムは、地下 10 メートルから 100 メートルほどの地中が、年間を通して 15 度程度に保たれていることに着目し、この熱を冷暖房などに利用するものです。このシステムにより、エアコンの室外機の排熱を防ぎ、ヒートアイランド現象を抑えることができます。

環境問題の改善には、一般家庭における日々の取組が何より大切です。エアコンの適切な温度管理、ごみの削減や分別の徹底、公共交通機関の利用促進、グリーンカーテンの推進など、市民へのエコライフの啓発も進めていきます。



### 議席番号 3 富士見中学校 <sup>たかはし こうせい</sup> 高橋 昂聖 議員

#### 野良猫の増加とその対策について(環境部長)

高橋 昂聖議員さんの「野良猫の増加とその対策について」にお答えします。

これまで、熊谷市には、「野良猫」、つまり「飼い主のいない猫」に関して、庭や畑にフンをされてしまう、ごみの集積所が荒らされてしまう、無責任にえさを与えている人がいる、たくさんの猫が住み着いている空き家があるなどの相談が寄せられています。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

これらの問題は、無秩序な繁殖により、飼い主のいない猫が多くなり過ぎたことが、大きな要因と考えられます。

そこで、熊谷市では、この対策として、猫は室内で飼うことや愛情と責任を持って飼うことを市民に呼びかけているほか、地域猫活動を推進しています。

地域猫活動とは、飼い主のいない猫を捕獲するトラップ、不妊去勢手術を施すニュートナー、元の場所に戻すリターンの頭文字を取った TNR を主体とした活動です。

熊谷市では、この TNR を進めていくため、平成 30 年度から、公益財団法人どうぶつ基金との協働事業により、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を無料で施せる制度を設けています。

この制度は、多くの市民や団体に利用されており、平成 30 年度には 316 匹、また、令和元年度も 9 月末時点で 245 匹の TNR を実施することができました。

これからも、飼い主のいない猫が減少し、地域の生活環境が良くなるような取組を進めていきます。

### 議席番号 14 中条中学校 よしの さき 吉野 咲季 議員

#### 熊谷市のイベント時のごみ対策について(環境部長)

吉野 咲季議員さんの「熊谷市のイベント時のごみ対策について」にお答えします。

イベントにより排出されたごみは、主催者が主体的に、責任をもって処理することを求めています。ボランティアの皆さんが、自主的に会場等の清掃活動を行っているイベントも多くあります。

例えば、毎年、うちわ祭の翌朝には、民間団体によるコミュニティひろばの清掃活動が行われているほか、先日開催されたラグビーワールドカップ 2019 の試合の時には、市民や企業の皆さんによるまちなかの清掃活動が行われました。

熊谷市内では、大小様々なイベントが開催されますので、会場の美化活動等について、これからもボランティア協力を広げていくことを検討します。

次に、今後のイベントでの、ごみ対策についてですが、イベントで使用する食品用の皿やカップに、紙製などの使い捨て容器ではなく、リユース食器を使用することが挙げられます。

リユース食器を使用すれば、ごみの量は大きく減りますが、食器の購入またはレンタル費用が高くなることや、食器を洗う手間が増えるなど、主催者の負担が増えるため、現在は環境意識の高いイベントでの導入となっています。

このため、リユース食器の導入について、イベントの主催者に働きかけ、更なるごみ減量につなげたいと考えています。

### 議席番号 15 吉岡中学校 かきたに はるき 柿谷 悠貴 議員

#### 熊谷市のポイ捨てについて(環境部長)

柿谷 悠貴議員さんの「熊谷市のポイ捨てについて」にお答えします。

ごみのポイ捨ては、ルールやマナーが守られないことが原因で発生しています。

ポイ捨てを防止するためには、ごみ箱を多く設置する方法もありますが、ごみをポイ捨てしないよう、意識を高めてもらうことも大切であり、また、ごみを捨てられないよう普段からまちをきれいにしておくことが重要です。

皆さんの身近な地域では、自治会ごとに環境美化推進員さんを委嘱して、集積所を中心とした地域の美化活動をお願いしているほか、春と秋のごみゼ

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

口運動では、自治会等を中心に、全市的に道路や水路の清掃活動をしていただいています。

ほかにも、公園サポーターとして公園の除草や清掃を行っている団体や、ロードサポーターとして国道や県道の清掃を行っている小中学校や企業等もあり、市内では、様々な環境美化活動が行われています。

きれいなまちを維持していくためには、市民の皆さんの協力が必要であり、これからも、こうした環境美化活動が市全体に広がるように働きかけていきたいと思ひます。

中学生の皆さんにも身近な環境の美化にご協力くださいますようお願いしします。



## 質問番号 8 産業振興部関係

議席番号 25 大里中学校 小倉 颯人 議員  
熊谷市のグルメについて

現在、市のご当地グルメとして、市の水を使った貫目氷をふわふわに削った「雪くま」や、埼玉三大銘菓の一つといわれる「五家宝」があります。また、地元の小麦粉を使った「熊谷うどん」や、熊谷の暑さを逆手に取った「くま辛」などのグルメも知られるようになりました。

ここで若い世代にも建造物では埼玉唯一の国宝妻沼聖天山をアピールするようなグルメの創作を提案します。縁結びメニューについては既に考案されている店舗がありますが、更に実盛公に関するメニューを提案します。例えば、壮絶な戦いを象徴するようなものです。これにより新たな魅力、聖天山の歴史的な背景に関心が高まります。また、「知恵の文殊寺」にちなんで合格メニューがあることも宣伝していくと良いと思います。

そこで、新メニューやお土産品の創作について現在の市内の店舗等民間企業との協力の現状を教えてください。さらに、小中学生に学校で募集をしたり、ホームページから広く意見を募集してはいかがでしょうか。

議席番号 6 大原中学校 笹沢 大翔 議員  
熊谷の名物について

テレビなどを見ていると、熊谷の紹介はいつも「暑い」という言葉が使われている気がします。「雪くま」をたくさんのお店で工夫して提供したり、「うどんサミット」を開催したりと、熊谷市も名物を PR しているのに広く認知されていません。今時の人はネットを多く使っているので、SNS などで若者を中心に話題にしたいくなるような名物を作るのでしょうか。

例えば、熊谷市は小麦が特産物なので、うどん以外にも独創性のあるパンを作ったり、雪くまとうどんを合体させた「冷やしうどん」をつくったりするともっと話題性が出ると思います。熊谷市では、新たに話題性のある名物を作ることに、どうお考えですか？

答弁  
(市長)

小倉 颯人議員さん、笹沢 大翔議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

お二人から、熊谷のグルメ、名物に関する質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。

熊谷市ではグルメや名物に関する分野でも多くの店舗や民間企業との連携・協力を行っています。

一つの例として「雪くま」の新作では、ラグビーワールドカップ開催に合わせて、ラグビーコラボ商品を考案した店舗もあり、メディアにも取り上げられ、熊谷の魅力発信につながりました。

さらに、くまがや小麦の会と市内の高校生が連携し、小麦を使った商品を販売するなど、様々な取組を行っているところです。

また、今週末に行われる「全国ご当地うどんサミット」は、市内の産業界を挙げて組織

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

された実行委員会が運営していますが、今年が目玉は、大ヒットとなった映画「翔んで埼玉」に出演された、地元熊谷出身のブラザートムさんが熊谷うどんレシピコンテストに登場します。

ブラザートムさんからは、中学生ボランティアの活躍なしには 12 万人ものお客様をお迎えする大会の開催はできなかつたとの賛辞をいただいておりますので、今回誕生する熊谷うどんは、中学生の皆さんの努力のたまものであると言えるのかもしれない。

このようにグルメ、名物の創造は熊谷市に人を引き付ける交流人口の増加が期待できるとともに、農・商・工の各産業の発展にもつながりますのでインターネット、SNS などの活用も含め、新しい視点も取り入れながら研究してみたいと思います。

### 議席番号 25 大里中学校 おくら ふうと 小倉 颯人 議員 熊谷市のグルメについて(産業振興部長)

小倉 颯人議員さんの「熊谷市のグルメについて」に、お答えします。

新メニューやお土産品の創作における市内店舗や民間企業との協力状況では、現在「雪くま」を始め「熊谷うどん」などの小麦を使った製品に取り組んでいます。

「雪くま」では、現在販売店 31 店舗が加盟している「雪くまのれん会」に、毎年新作の考案をお願いしており、今年も 10 店舗以上のお店から新作メニューがお客様に提供されました。

また、熊谷農業高校で栽培したブドウや小梅の提供に加え、これらを原材料としたシロップのレシピを取り入れて販売しているお店もあります。

「熊谷うどん」では、全国ご当地うどんサミットのほか、うどん打ちが体験できる店舗、「よりみち屋」もオープンし、市外や外国のお客様を中心ににぎわっています。

そのほかにも、NPO 法人「くまがや小麦の会」が「熊谷市内県立高校スイーツ文化祭」を開催し、高校生が考案した小麦を使った商品の販売を行っており、小倉さんからご提案をいただいた、妻沼聖天山や文殊寺等、市内の名所にちなんだメニューについても、くまがや市商工会発行の冊子「縦横無尽 5」で広くPRをしています。

新しいメニューや土産品の開発については、個々の店舗が加盟している商工団体などとともに、小中学生や市民の皆さんの意見が生かせるような仕組みづくりを考えていきたいと思います。



### 議席番号 6 大原中学校 ささざわ ひろと 笹沢 大翔 議員 熊谷の名物について(産業振興部長)

笹沢 大翔議員さんの「熊谷の名物について」にお答えします。

情報発信ツールとして、SNS の拡散性は目を見張るものがあります。これを活用したグルメや名物の特徴は、まず、いわゆる SNS 映えしているか、次に笹沢さんの言われるように、いかに話題性があるかです。

今週末には、熊谷での最後の開催となる全国ご当地うどんサミットが産業祭と同時開催されます。

その中のスペシャルイベントとして「熊谷うどんレシピコンテスト」があります。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

これはインターネットを活用した募集を行い、インターネットでの投票により、スペシャル版熊谷うどんを決定するもので、当日には優勝作品の調理、試食が行われますので、どんな熊谷うどんが誕生するのか、笹沢さんも注目してみてください。

そして、このような話題性をもった物産が名物となり、長く定着していくためには、なぜこの物産が熊谷市の名物なのかというストーリーづくりも重要となってきます。

現在、熊谷市では池上地区に「食のテーマパーク」をコンセプトとした道の駅を整備する取組を進めており、この道の駅では名物を始めとする様々な物産品を取り扱いたいと考えています。

道の駅を熊谷市の物産品の発信基地とすることで、多くの方々にお越しいただき、「SNS 映えする名物」など、多彩な名物をここから誕生させていきたいと思ひます。



## 質問番号 9 都市整備部関係

議席番号 18 別府中学校 <sup>よしだ さく</sup>吉田 朔 議員

### 別府沼公園の活性化について

私たちの住む地域には自然が豊かで、多くの人が利用する別府沼公園があります。別府沼公園では、熊谷市別府ホテル愛好会の皆さんが中心となって行われるホテル祭りなど、毎年イベントがあります。

そこで、多くの人が利用し、広い範囲の地域の人が訪れるように熊谷市が企画したイベントを増やすと良いと思います。このことについて、より多くの市民の方に利用していただけるような計画があったら、教えてください。

議席番号 24 大幡中学校 <sup>なかざわ やまと</sup>中澤 大和 議員

### 市内の緑化について

現在、熊谷市では緑化活動としてグリーンカーテンや、植樹などが行われていることをホームページで見ました。学校の授業で、ヒートアイランド現象を防いだり、熱を遮る効果のほか、まちの美化などにも効果があると聞き、熊谷を更に緑あふれるまちにしたいと考えました。そこで、ラグビーロードなど新しく整備した道などに木を植えたり、地域での植樹活動などを盛んにすれば、地域での交流も深まり、緑も増えて良いと思うのですがどうでしょうか。

議席番号 26 大里中学校 <sup>せきや くれん</sup>関谷 果恋 議員

### 公園の遊具の改修工事について

私の家の近くの公園は、遊具の劣化があり、子どもが安全に遊ぶことが難しいです。現状は遊具が改修ではなく、撤去されているように見えます。残されている遊具では、更なる劣化により思わぬケガの心配があります。

熊谷市には様々な子育て支援策があります。その多くは屋内での支援策です。私は屋外である公園整備も子育て支援の一環であると考えています。また、子どもの体力低下の防止にもつながり、市内の人口が減少する予想がある中、子育てしやすい市としてアピールするためにも公園整備・遊具の改修は大切な事業と考えます。一方、屋外においては、暑さ対策も重要です。たくさんの広葉樹を植え、水遊びができるエリアを作り、休憩スペースにひさしをつけるなどの工夫を提案いたします。

そこで、公園の遊具の改修工事はどのように行われているのか教えてください。暑さ対策を充実させながら、公園整備をどのように進めるのでしょうか。

## 答弁

### (市長)

吉田 朔議員さん、中澤 大和議員さん、関谷 果恋議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、吉田さんの「別府沼公園の活性化について」ですが、別府沼公園では、日頃から健康増進のため、ジョギングコースを利用される方、芝生広場や複合遊具を利用して家族で利用されている方、また、6月には満開のハナショウブを楽しみに遠方から鑑賞に来られる方も多く、市民だけでなく多くの方々からもたいへん親しまれている公園です。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

現在行われている多くの人が集まるイベントとしては、別府ホテル愛好会の皆さんによる別府ホテル祭りや自然観察会などがあります。これからも、別府沼公園の魅力を生かしたイベントについて地域の方々とともに考えていきたいと思っておりますので、吉田さんの意見を聞かせていただければ有り難いと思っております。

次に、中澤さんの「市内の緑化について」ですが、熊谷市では、緑に覆われた区域の割合は、市全域では約 65.6 パーセントであり、市の中心部となる市街化区域では、約 20.3 パーセントと低く、市街地に緑を増やすことが必要と考えています。

そのためには、暑さ対策にも有効な、緑化の保全のほか、新たに緑を創出させることが必要となります。その方法として道路の整備に合わせ、街路樹の植樹を実施していますが、美化を継続していくためには、地域の方々による管理も重要となります。

中澤さん提案の緑の植樹等による地域のコミュニティ作りが進めば、人と人との交流が深まるきっかけとなりますので、地域の方々からの意見を伺っていきたいと考えています。

次に、関谷さんの「公園の遊具の改修工事について」ですが、熊谷市には、国営公園 1 か所県営公園 2 か所のほか、市が管理している公園を合わせ 140 か所の都市公園があります。

現在、市の管理している公園にあるブランコや鉄棒等の遊具の中には、古いものでは 50 年経過しているものもあり、市では定期的に劣化状況を調査し、状況により撤去や入替えを実施し、複合遊具についても計画的に更新しています。

引き続き遊具を利用する子ども達に事故のないよう遊具点検をしていきます。

また、関谷さんの提案どおり、公園の暑さ対策も必要です。現在、遊具の暑さ対策として、すべり台の鉄製の部分の温度上昇を抑制するため熱交換塗料を塗ることについて検討を進めています。

公園は、子どもたちが安全に遊ぶことはもとより、高齢者等の憩いの場として利用されていますので、皆さんが快適に利用できるよう努めていきたいと思っております。

### 議席番号 18 別府中学校 <sup>よしだ さく</sup> 吉田 朔 議員

#### 別府沼公園の活性化について(都市整備部長)

吉田 朔議員さんの「別府沼公園の活性化について」にお答えします。

別府沼公園は農業用排水池である別府沼の自然環境を生かした公園として、平成 6 年に開設しました。今年度から、指定管理者制度を導入し、公園の管理運営に民間の能力を活用し、別府沼公園が多くの皆さんに、より一層親しまれるよう進めています。

また、沼の豊かな自然環境を生かして、ホテル祭りや希少な水生植物等の観察会といったイベントを地域の方々と協働して毎年実施しています。

新たなイベントとしては、園内には、沼はもちろん、芝生広場、広場等たくさんの施設がありますので、それらを利用して、

例えば、星空ウォッチングやバーベキューを実施することなどが

引き続き、地域の方々や指定管理者の方と協働して、多くの方向、魅力的な公園づくりに努めていきたいと思っておりますので、吉田さんも友達と一緒に、別府沼公園を利用してください。



## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

### 議席番号 24 大幡中学校 なかざわ やまと 中澤 大和 議員 市内の緑化について(都市整備部長)

中澤 大和議員さんの「市内の緑化について」にお答えします。

熊谷市では、暑さ対策として気温上昇を緩和するために、自然の緑を積極的に活用することはとても有効と考えています。そのためには現在ある緑を守るだけでなく、市街地の緑を増やしたり、多くの人が緑を育む機会を作ったりする必要があります。

平成20年に「緑の基本計画」を策定し、また、「熊谷のみどりを育む懇話会」の設立により、市民・事業者・行政が協働で緑化の推進に取り組んでいます。

新たな事業として、昨年、住宅の周りのブロック塀を撤去し、代わりに生け垣を設置する場合には、市が補助金を交付するという制度を設け、緑化を更に進めています。

次に、地域の方々がやっている事業としては、地元の方達に公園を管理していただく「公園サポーター」という制度があり、その活動の中で花苗を育てたり、樹木の管理などの公園内の緑化活動に取り組んでいます。

そのほか、県の取組として「彩の国ロードサポート制度」により、美化活動団体と協働しながら県管理道路の清掃美化や緑化の取組が行われています。

これからは、こうした活動が行える場所や機会を増やすだけでなく、その活動状況について市報やホームページなどを活用して情報発信にも努め、地域の方と一緒に、熊谷の緑を更に増やしていきたいと考えています。

### 議席番号 26 大里中学校 せきや かれん 関谷 果恋 議員 公園の遊具の改修工事について(都市整備部長)

関谷 果恋議員さんの「公園の遊具の改修工事について」にお答えします。

遊具の改修工事のうち、特に大きな遊具については、皆さんが安全に安心して利用できることを目的とし、平成30年度に、「複合遊具の更新・維持管理計画」を作成し、今年度から令和9年度までの9年間で18基の複合遊具の更新を行うとともに、それ以外の遊具等についても、年2回の点検により補修あるいは撤去を行っています。

また、公園の暑さ対策として、各公園では、あずまや、パーゴラ、樹木により日陰を作り出し、また、熊谷さくら運動公園テニスコートには、新しく開発された人工的な日よけを設置したところです。

関谷さんから親水エリアや休息スペースにひさしをつけるという提案をいただきましたので、設置できるスペースや構造などの検討も含め、公園施設が安全に利用でき、また、暑さをしのげる憩いの場となるよう努めていきます。



## 質問番号 10 都市整備部・建設部関係

### 議席番号 11 大麻生中学校 <sup>おおうえ ゆい</sup> 大植 柚依 議員 交通バリアフリーについて

学校で福祉についての学習をする中で、交通バリアフリーについて気づくことができました。市役所や熊谷女子高校などの交差点に白い杖の反射シートに反応して音声案内が流れるシステムが導入されているということです。これは市内6か所です。また、信号が変わるときに、ピヨピヨ、カッコーカッコーという誘導音がなるところもあります。私は視覚に障害がある人や、高齢の人に対する支援を推進するために生徒集会で「交通バリアフリー」について調べたことを発表し「支援を広めよう!」というアピールをしてみたいと思います。市としては、誘導音のシステムをもっと広い範囲まで充実していただけたらよいと思いますが、いかがでしょうか。

### 議席番号 19 三尻中学校 <sup>つづき たけと</sup> 續木 健人 議員 熊谷駅周辺の道路整備について

ラグビーワールドカップ開催に向けて準備や整備が行われ、まちの雰囲気も大変盛り上がったと感じます。住みやすさや楽しさにつながっていると思うので、市民としてうれしいです。今気になるのは、一部の渋滞です。熊谷駅前の「熊谷通運ビル」および「R&B ホテル」前の道路が、一方通行になっているため、星川通りを迂回路にする人が多く、渋滞が起っています。「東横イン」前の道路や「レオパレス 21」前の星川通りに右折専用車線を作れば渋滞が緩和されるのではないかと考えました。いかがでしょうか。

### 議席番号 17 別府中学校 <sup>ふじた なな</sup> 藤田 虹 議員 利根川・荒川の堤防が決壊する危険性について

近年、集中豪雨等による水害が頻発していて、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して死者や行方不明者、家屋の倒壊などの被害が発生しています。今後も記録的な大雨や大型台風が発生すると思います。

熊谷市には大きな河川が2本流れています。「洪水ハザードマップ」が作成されていますが、これらの河川の堤防はどのくらいの雨量で決壊するおそれがありますか。また、決壊を未然に防ぐ対策をされていたら、その内容を教えてください。

## 答弁 (市長)

大植 柚依議員さん、續木 健人議員さん、藤田 虹議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、大植さんの「交通バリアフリーについて」ですが、熊谷市は、平成13年度に交通バリアフリー基本構想を定め、埼玉県内でもいち早く、バリアフリーの取組を積極的に進めてきました。

その取組は、道路や建物、車両など様々な分野で行っており、その一つとして、視覚に障害のある方が利用しやすいよう、音声付信号機の設置があります。

信号機のバリアフリー化は、熊谷市が作成した基本構想に基づき、埼玉県警察が設置したもので、横断歩道を利用する方に分かりやすく、安心・安全な交通の実現に

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

貢献するものと考えています。

そのため、音声付信号機の設置範囲拡大については、引き続き、市と警察で協議を進め、全ての人にやさしいバリアフリーのまちづくりを目指していきます。

次に、續木さんの「熊谷駅周辺の道路整備について」ですが、熊谷市がラグビーワールドカップ 2019 日本大会の会場都市の一つとして決定以降、世界中の国から訪れる多くの方々が利用しやすいよう、熊谷駅正面口の駅前広場のバリアフリー化や暑さ対策工事などを始め、国道、県道、市道など、市内各所で幹線道路の整備を進めてきました。

市民の皆さんには、工事期間中や大会期間中の交通規制などにご理解とご協力をいただいたところです。

續木さん提案の渋滞緩和のため、星川通りに右折帯を設けることについては、駅周辺整備に伴う交通の流れを改善するための手段として、有効と考えます。

まずは、整備後の現在の交通状況を良く調べて、どのような対策が一番良いか検討していきたいと考えています。

次に、藤田さんの「利根川・荒川の堤防が決壊する危険性について」にお答えします。

利根川や荒川では、昭和 22 年にカスリーン台風で堤防が決壊し、大きな水害がありました。

国土交通省では、それぞれの河川ごとに過去の水害を教訓に、堤防の決壊等の被害を軽減するため、目標を設定し、堤防の改修工事等を進めています。

先月、台風第 19 号が関東地方を直撃した際には、改めて水の脅威を実感したことから、利根川や荒川流域の近隣市町とともに、今まで以上に堤防整備を始め、河川整備の早期完成を国に働きかけていきたいと思いをします。

### 議席番号 11 大麻生中学校 おおうえ ゆい 大植 柚依 議員 交通バリアフリーについて(都市整備部長)

大植 柚依議員さんの「交通バリアフリーについて」にお答えします。

熊谷市では、熊谷駅を中心とした中心市街地を重点整備地区としたバリアフリー基本構想を定め、国、県、警察などの公共機関のほか、バス・鉄道などを始めとした民間事業者とも連携し、バリアフリーの取組を進めています。

音声付信号機は、重点整備地区内の主要な交差点に、鳥の鳴き声で進行方向を知らせるものが設置されています。

この信号機では、「ピヨピヨ」は南北方向、「カッコウカッコウ」は東西方向が青であることを、それぞれの音で伝えています。

また、大植さんの質問の中にありました白い杖のシールに反応し、音声案内をするシステムは、歩行者支援音声信号機(通称:PICS)と呼ばれるもので、平成 20 年に県内で初めて、熊谷市内 3 か所の交差点に設置され、現在では、熊谷駅から市役所までの交差点 6 か所に設置されています。なお、この信号機では、鳥の鳴き声に加え、交差点の名称、横断距離、信号の色を音声でお知らせします。

熊谷市としましては、警察の協力をいただきながら、これからも信号機のバリアフリー化を進めるとともに、更に範囲を拡大できるよう協議を進めていきたいと思いをします。

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

### 議席番号 19 三尻中学校 續木 健人 議員 熊谷駅周辺の道路整備について(都市整備部長)

續木 健人議員さんの「熊谷駅周辺の道路整備について」にお答えします。

熊谷市では、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会を契機に、駅前広場の改修を行い、暑さ対策、バリアフリーなどのユニバーサルデザインや、景観等に配慮するとともに、駅前広場周辺の渋滞対策も視野に入れ、整備を行いました。

熊谷駅の駅前広場は、これまでも、正面口はバス、タクシーなどの公共交通の利用を優先とし、東口およびティアラ 21 駐車場を一般車両の送迎用の利用としています。

今回、駅正面口から東口へ向かう道路を一方通行にする工事によって、一般車両を東口方面へ誘導し、正面口と東口との機能分担を図ったものです。

現在の混雑は、東口での送迎後に星川通りに向かう車両数の増加によるものと考えられます。

そのため、熊谷市では、駅前広場や周辺道路の工事や周辺の宿泊施設のオープンから一定期間が経過したこと、また、ラグビーワールドカップによる交通規制等が終了し、交通状況が落ち着いてきたことから、今年度、熊谷駅周辺の交通量調査を実施し、改善すべき点の抽出のほか、今後の改善策の検討を行います。

續木さんの提案についても、その改善策の一つとして、検討していきたいと思えます。提案の星川通りへ右折専用車線を設置することは、交通の面での改善が期待されます。しかしながら、一方では、貴重な星川の水辺空間を減少させることにもなりますので、地域の方の意見等を参考にしながら、慎重に検討していきたいと考えています。



### 議席番号 17 別府中学校 藤田 虹 議員 利根川・荒川の堤防が決壊する危険性について(建設部長)

藤田 虹議員さんの「利根川・荒川の堤防が決壊する危険性について」にお答えします。

利根川と荒川は、国が直接管理する非常に重要な一級河川です。

利根川は、流路延長が約 322 キロメートルで国内 2 位、荒川も約 173 キロメートルと長く、また流域面積は利根川が 16,840 平方キロメートルで 1 位、荒川も 2,940 平方キロメートルと大きく、首都圏の大都市と広大な関東平野に住む住民に多大な恩恵をもたらしています。

しかし、近年では時間雨量が 50 ミリメートルを上回る豪雨が全国的に増加しており、雨の降り方が局地化、集中化しています。

先の台風第 19 号では、荒川の熊谷水位観測所で氾濫危険水位 5.5 メートルを超える 6.25 メートルまで達しましたが、これまでの河川やダム of 整備もあり、荒川本川では幸いにも越水や氾濫を起こすことはありませんでした。

しかし、気候変動などにより、堤防やダムなどの施設だけでは守りきれないような大雨が降る可能性が高まっています。このような大雨等から命を守るためには、「洪水ハザードマップ」等により自分の住んでいる場所に関する災害リスクを認識し、危険が迫っている時は、主体的に判断し避難できるような心構えを持つことが重要です。

利根川では、茨城県五霞町から深谷市までの約 49.5 キロメートルの右岸側の堤防

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

を補強する工事を下流から進めており、熊谷市を含む上流側も順次改修する計画となっています。

一方、荒川では、さいたま築堤と呼ばれる堤防整備を始め、中流部には一時的に雨水をためる荒川第二・第三調節池群を造るなど安全性を向上していく対策を進めています。

これからも、利根川や荒川の安全性をより一層向上していくため、堤防の早期整備を引き続き国土交通省に働きかけるとともに、市民の皆さんには自主防災の意識を高めていただくよう取り組んでいきます。

藤田さんも水害の時に安全に避難する場所や経路について、再確認をお願いします。



## 質問番号 11 教育委員会関係

議席番号 28 妻沼東中学校 岩田 直人 議員  
スマホトラブルの取組について

ネットトラブルが多いこの時代、「スマホ使い方宣言」を熊谷市の各学校で定めている取組を多くの方に知っていただくことで、各家庭での意識を高めてトラブルを一つでも減らせるのではないかと思います。そこで、熊谷市のホームページでその取組を掲載し、スマホの使い方について情報発信ができればと思いますが、各学校で行うのはいかがでしょうか。

議席番号 32 江南中学校 和田 真陽留 議員  
熊谷市の各地域のPRについて

皆さんは、江南の「ほたる」の美しさを知っていますか。市のホームページには、「こうなんほたる祭り」が掲載されていますが、まだご存じでない方もいると思います。私たちのまちのほたるを大切に守っていくために、江南中学校ではボランティアでほたる坂通りの清掃やごみ拾い活動を行っています。また、小学校では、ほたる祭りで飾られる灯ろうの絵を描くなどして、地域を挙げて活動しています。

そこで、江南地区だけでなく他の地域でも様々な活動やイベントが行われていることを知ってもらうために、小中学校でそれぞれ「地域自慢」の新聞を作り、市内各所に掲示するのはいかがでしょうか。私たち小中学生が地域をPRすることによって、私たち自身が地域に愛着を持つことができるとともに、ほたる等熊谷の財産を皆で守ろうと協力し合うことにつながると思います。また、お互いの地域を自慢し合うことで、地域どうしの交流もいっそう深まると考えます。

議席番号 27 妻沼東中学校 石田 陽菜 議員  
熊谷市の文化財を県内の小中高生にも魅力あるものにするために

妻沼地域には国宝「妻沼聖天山」があります。

たくさんの観光客が訪れますが、他の地域の小中学生や高校生を目にすることがほとんどありません。そこで提案をさせていただきます。

県内各地の小中高生の見物客も増えるように、スタンプラリーなど楽しめるものを設置してはどうでしょうか。また、聖天山だけに限らず、熊谷市の各名所にスタンプラリーを配置し、全て集めると市役所でジュニア文化財大使に任命するカードを配ったり、グッズをプレゼントなどしたりしてみたいはいかがでしょうか。

## 答弁

(市長)

岩田 直人議員さん、和田 真陽留議員さん、石田 陽菜議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、岩田さんの「スマホトラブルの取組について」ですが、先ほど議会の冒頭で代表議員さんに宣言していただきました「スマホ使い方宣言」は、大変すばらしい取組だと感じています。スマートフォン・携帯電話等は気軽にインターネットにつながり、メールや調べ物、ゲームなどができる大変便利な道具です。しかし、「インターネット上

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

に投稿した内容によっては、自分や周りの人を傷つけてしまうことがある」ことや、報道にもあるように「犯罪に巻き込まれてしまう可能性がある」こと、「使用料金による金銭トラブルが起きてしまう」こと等が心配されます。

次に、和田さんの「熊谷市の各地域のPRについて」ですが、熊谷市には、ラグビー、うちわ祭、国宝歓喜院聖天堂、荻野吟子など日本全国に誇れるものが数多くありますが、和田さんの言うほたる祭りが江南の自慢であるように、ほかの地域にも熊谷の自慢はたくさんあります。例えば、大里地区の「根岸家長屋門」を始めとした文化財や、各地域のお祭りも熊谷市にとって誇れるものです。このほか、熊谷にはまだまだ知られていない魅力がたくさんあり、お互いに自分の地域以外の魅力を知るとはとても貴重です。さらに、各地域の魅力を、熊谷市民だけでなく、熊谷市に住んでいない方々にも知っていただくことはとても大切なことであり、小中学生の皆さんにも自分の地域の自慢を「熊谷ブランド」として更にアピールしていただきたいと考えております。

最後に、石田さんの「熊谷市の文化財を県内の小中高生にも魅力あるものにするために」ですが、市では、ホームページ、熊谷デジタルミュージアムなどを活用して、文化財について広く情報発信しています。引き続き、ご提案の内容も含め、より多くの人に文化財の魅力をPRし、身近に感じていただく取組をしていきたいと考えています。

石田さん、これからも、地域の宝である文化財に関心をもっていただき、守り伝えていくサポーターであり続けてほしいと思います。

### 議席番号 28 妻沼東中学校 <sup>いわた なおと</sup> 岩田 直人 議員 スマホトラブルの取組について(教育長)

岩田 直人議員さんの「スマホトラブルの取組について」にお答えします。

熊谷市では平成 27 年から熊谷市 PTA 連合会と各小中学校 PTA が中心となって、「熊谷市保護者のスマートフォン『4 つの実践』」に取り組んでいます。

これは、保護者の方々から特に「スマホの使い方について家庭で指導するときのよりどころとなるものが欲しい」という声があり、市内の PTA の代表が集まり、検討を重ね、大人が手本となって実践したいことを大きく 4 つにまとめたものです。

この取組から 4 年が経過し、この度、全小中学校で子どもたちが主体となってスマホの上手な使い方に取り組んでいただいています。

現在、「スマホ使い方宣言」の取組については、熊谷市青少年非行防止大会や熊谷地域安全・暴力排除推進大会等でも私が紹介をし、熊谷の子どもたち皆さんの自慢をしています。

岩田さんから、ご提案いただいた熊谷市ホームページへの掲載や、各学校からの情報発信は大変有意義なものと考えます。ぜひ、生徒会が中心となり、様々な場面で「スマホ使い方宣言」を発信、実行していただき、トラブルのない、一人ひとりが安心して楽しい学校生活が過ごせるようにしてください。

### 議席番号 32 江南中学校 <sup>わた まひる</sup> 和田 真陽留 議員 熊谷市の各地域のPRについて(教育長)

和田 真陽留議員さんの「熊谷市の各地域のPRについて」にお答えします。

先ほど、市長から熊谷ブランドのアピールについてお話がありましたが、「地域自慢」を新聞にして小中学生が発信するという和田さんの提案は、大変よいアイデアだと思います。市内各地域が活性化し、「自分たちの地域にはこんなにも素晴らしいものがある」という郷土愛も深まると考えます。和田さんの江南のほたるも私も見に行きまし

## 第 14 回夢・未来熊谷ジュニア議会質問内容

たが、本当に幻想的ですけど素晴らしいですね。

小学校でも、総合的な学習の時間を中心としたカリキュラム、「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」の中で、自分たちの地域の自慢である祭りや行事、名産を調べて発表したり、ポスターにして掲示したりする学習に取り組んでいる学校も多くあります。今年の 8 月にも熊谷青年会議所主催の「熊谷自慢発表会」において小学生の皆さんが熊谷自慢を発表しました。こうした取組で、小中学生が作成した成果物を市内に掲示し、市民の方々に興味をもっていただくなどの企画も考えられるでしょう。



和田さんのように、子どもたちから地域を盛り上げていこうという発想は大変素晴らしい、大人の皆さんにもきっと喜ばれます。掲示も含めて、発信の仕方について各学校で工夫してほしいと思います。

### 議席番号 27 妻沼東中学校 <sup>いしだ ひな</sup> 石田 陽菜 議員 熊谷市の文化財を県内の小中高生にも魅力あるものにするために(教育長)

次に、石田 陽菜議員さんの「熊谷市の文化財を県内の小中高生にも魅力あるものにするために」についてお答えします。

市内には、国宝歡喜院聖天堂を始め数多くの文化財があり、熊谷の歴史を物語る上で大変貴重な文化遺産として、地域の皆さんにより、大切に守り伝えられてきました。

市では、インターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」、観光・文化財ナビアプリ「くまここ」などで、文化財などについて積極的に全国に情報発信しています。

ご提案いただいた、スタンプラリーなどを利用して、県内の小中高生に、市内の文化財の魅力をPRすることについては、参考になる大変良いアイデアであると思います。

先ほどの「くまここ」には、市内の文化財などを巡るコース紹介に併せて、スタンプ帳機能もあり、利用者に楽しんでいただいています。

また、現在スタンプラリーは、熊谷図書館が実施している文化施設を巡るもの、市内村岡や吉岡地区で実施している地域の文化財などを巡るものがあります。

ところで、現在、市指定有形文化財である平戸の大仏の館保存修理事業が進んでいます。完成が楽しみです。

これからは、文化財を、観光資源としても積極的に活用していく時代であると考えていますので、スタンプラリーを始め、様々な手法を活用し、内容の充実を図っていきます。

石田さん、これからも、貴重な文化財を次の世代につなげていけるような良いアイデアをたくさん出してください。大いに期待しています。



## 5 ジュニア議員の感想

### ～ジュニア議会を終えて～

#### 1. 議会のしくみについて、理解は深まりましたか。

- ・ 議長を中心に議会が進められ、議長の許可が下りてから発言をすることに驚きました。
- ・ 議長は大変そうだったけれど、やってみたかったです。
- ・ 生徒総会などでの議会のスムーズな進め方を考えるきっかけとなった。ただ、予定された時間よりも大幅にオーバーしてしまっていたので、もう少し答弁などを短くしたほうが良いと感じました。
- ・ 生徒総会では議長はセリフが多くないため、議長があんなにもたくさん話すなんて、意外で、知りませんでした。
- ・ ルールの中で発言することによって、質問する側と答弁する側がはっきりと分けられるので、相手の意見が理解しやすいと思いました。
- ・ 市長さんが一人ひとりの質問に丁寧に答弁すること、各担当課の方々も今後できることは何かを考えて答弁していることが分かりました。

#### 2. 質問に対する答弁で印象に残っている部分はありますか。

- ・ 選挙の電子化でやり直しがあったという話は初めて聞いたので、印象的でしたが、よく分からない専門用語があったので、もう少し分かりやすく説明してほしいかったです。
- ・ 答弁で、「ぜひ　　さんも～に行ってみてください」と、質問をした議員に呼びかけてくださったのが印象的でした。
- ・ 市長やたくさんの部長がどの質問にも丁寧に答弁なさっていて、感動しました。私たちの意見を大切に扱ってくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・ 自分の意見に対して、市長が「有効です」と言ってくださった時が一番印象深かったです。熊谷駅前の交通状況をしっかり調べてからしてくれると言ってくれ、自分の中の疑問がスッと晴れていきました。
- ・ 様々な質問に真剣に向き合い、身近な例を挙げて答弁していただき、理解と関心が深まりました。
- ・ 自分の内容が取り上げられたとき、“議会”をしている実感が湧いてきて、うれしかったです。

### 3. ワークショップで、熊谷市への理解は深められましたか。

- ・ 熊谷市の取組は知っている方だと思っていたけれど、子育て支援に力を入れていることなど初めて知ることも多く、またそれをグループで話し合うことでさらに深めることができたと思います。
- ・ 2回目のワークショップで、同じグループの人と、質問について話し合ったとき、自分ではあまり考えないような発想や考えがポンポン出てきて、とても楽しかったです。初対面の人とのコミュニケーションを取ることの重要性を学ぶとともに、熊谷市が現在行っている取組について知識を深めることができました。
- ・ ワークショップで新たな道の駅の商品を考えることで熊谷市の名物を改めて理解することができました。様々な学校の子たちと話したことで、自分の地域にはない熊谷市の課題についても新たに理解することができました。
- ・ 緑化や地域活性、人口、スポーツ、福祉などいろいろな観点で、熊谷市への理解を深めることができたので、「もっと熊谷市のことを知ろう」という意欲が湧くきっかけとなった。) 今後は熊谷市を更に知るためにホームページやパンフレットなどに目を向けていきたい。
- ・ おいしい食べ物や歴史ある祭りなどまだまだ熊谷には魅力があると思うので、今後理解を深めていきたいと思います。また、魅力のほかにも熊谷が抱える問題点も知ることができたので、少しの力ですが協力していきたいと思います。
- ・ 熊谷は「日本一暑いまち」として、日本全体に暑さ対策を広めていることを知って、少し誇らしい気分になりました。
- ・ 熊谷の名物「雪くま」や「五家宝」などが何を材料に、どのように作られているのか、熊谷は何が名産物なのか何が盛んなのかなど、とてもたくさんのことを調べ、知ることができ、理解を深めることができました。
- ・ 今後は「熊谷は何に力を入れているのか」や「熊谷の歴史」への理解を深めていきたいと思います。

### 4. 夢・未来熊谷ジュニア議会を体験して感じたことを教えてください。

- ・ 終了時間が40分ぐらいのびてしまったので、そこを配慮していただくと助かります。毎年そうなるなと聞いたので、来年はもう少し早く始めるなどすべきだと思いました。
- ・ ジュニア議会はとても緊張しましたが、それ以上に自分は緊張

した状況でもしっかりと自分の意見を述べられるんだという自信にもなりました。

- ・ より良い未来創造のために、考える機会を持つことは大変良いことであり、この機会を与えてくださった市役所の皆様、感謝の気持ちを申し上げます。
- ・ 普通の人では味わえないすばらしい機会を体験することができてとてもいい取組だと思います。
- ・ 私が一番大切だと感じたことは「準備」です。一つの質問をするのにも、どんな質問にするのか考え、構成や、内容にも工夫を重ねました。
- ・ ジュニア議会を通じて、自分の疑問に思っていることは調べて、質問することが大切だということが分かりました。
- ・ ジュニア議会に参加していなかったら、熊谷市についてよく分からないまま過ごしていたと思います。このような活動をしているなどもっとアピールした方が良いと思います。
- ・ ジュニア議会は本当に貴重な経験となりました。熊谷市は私のふるさとで、自慢のふるさとです。熊谷市で行われているイベントにはこれからもたくさん参加していきたいと思います。今回の体験を一生忘れません。本当にありがとうございました。
- ・ 質問原稿をもう少し早めに渡してもらおうと、自分で読む練習の時間が長くなり、より完璧な状態でジュニア議会に臨めると思います。
- ・ ジュニア議会の質問・答弁はとても良かったが、この議会でのやりとりを簡単にまとめて資料を中学生全員に配った方が良いと思った。今回の答弁や市政・取組をジュニア議員だけにとどめるのはもったいないと思ったので、中学生に配ることで熊谷について関心を思ってもらえるのではないかと思った。
- ・ 人生に一度体験できるかできないか、というくらい貴重な体験になりました。緊張感あふれる中で自分の紹介や意見を言うことはあまりなく、これもまた、今後生きる経験になりました。機会があったら、議会に参加してみたいです。
- ・ 生徒総会などでの議会のスムーズな進め方を考えるきっかけとなった。ただ、予定された時間よりも大幅にオーバーしてしまっていたので、もう少し答弁などを短くしたほうが良いと感じました。



## 7 参考資料(答弁のための出席者)

市長	富岡 清
副市長	長谷川 泉
市長公室長	山崎 実
危機管理監	荻野 秀夫
総合政策部長	持田 浩一
総務部長	矢吹 浩一
市民部長	戸森 重雄
福祉部長	鯨井 敏朗
環境部長	高橋 近男
産業振興部長	増田 啓良
都市整備部長	前田 昌利
建設部長	澤田 英夫
消防長	倉本 豊
上下水道部長	羽鳥 豊
会計管理者	橋本 政佳
教育長	野原 晃
教育総務課長	田島 斉
選挙管理委員会事務局長	渡邊 功
監査委員事務局長	堀越 奈緒美
農業委員会事務局長	松岡 八起
議会事務局長	清水 輝義